

佐野美術館創立50周年・三島市制75周年 記念

# 名刀は語る

## 磨きの文化

- 展覧会名: 佐野美術館創立50周年・三島市制75周年 記念  
名刀は語る 磨きの文化
- 会 期: 2016年11月12日[土]～2017年2月19日[日]
- 会 場: 佐野美術館
- 開館時間: 午前10時～午後5時(入館の受付は午後4時30分まで)
- 休 館 日: 木曜日・12月24日(土)～1月6日(金)
- 入 館 料: 一般・大学生1,000円 小・中・高校生500円 \*毎週土曜日は小中学生無料
- 主 催: 佐野美術館、三島市、三島市教育委員会
- 後 援: 静岡県教育委員会
- 助 成: 株式会社ルーム・アシスト
- 協 賛: 伊豆箱根鉄道株式会社
- 協 力: 株式会社ニトロプラス
- ※前期(11月12日[土]～12月23日[金])、  
後期(1月7日[土]～2月19日[日])で  
作品を一部入れ替えます。

### 展覧会の趣旨

佐野美術館は、創立50周年を記念し2016年11月12日[土]から2017年2月19日[日]までの期間、約800年前の平安時代から江戸時代末期の間に造られ、今も美しい輝きを放ち続ける日本刀を紹介する展覧会を開催します。

名刀が美しい輝きを放つのは、鍛刀されてから今日にいたるまで、絶えず磨き続けた人々がいたからです。本展は名刀の物語る歴史や、日本人の培ってきた磨くことにより美を引き出す文化に焦点をあてます。

佐野美術館所蔵・寄託の名刀を中心に、国宝重要文化財11点を含む約80点を前後期で紹介(前期:11月12日[土]～12月23日[金]、後期:1月7日[土]～2月19日[日])。系統立てて収集された佐野コレクションの、主要刀剣が勢揃いします。

### 展覧会のみどころ

伯耆安綱、豊後行平、藤四郎吉光、新藤五国光、正宗、長船長光、村正、虎徹など、各時代、各流派の名工を包括的に展覧し、日本刀の歴史を辿ります。

名工が生み出した刀剣は、磨き抜かれた技で造られた外装の拵(こしらえ)に収められました。拵は漆工・金工などの芸術の結晶です。それにまつわる職人の技を道具や映像とともに紹介します。

特集展示「注目の刀が語る」は、本多忠勝の愛槍「蜻蛉切」や伊達政宗ゆかりの「太鼓鐘貞宗」など、大名家に伝わった刀剣をはじめ話題性の高い作品を大公開。本展にちなみ、三島市と、刀剣ブームが起こるきっかけとなったPCブラウザ&スマホ向けゲーム「刀剣乱舞-ONLINE-」のコラボレーション企画の一環として、展覧会期中、館内に刀剣男士の等身大パネルを設置するなど予定しています。

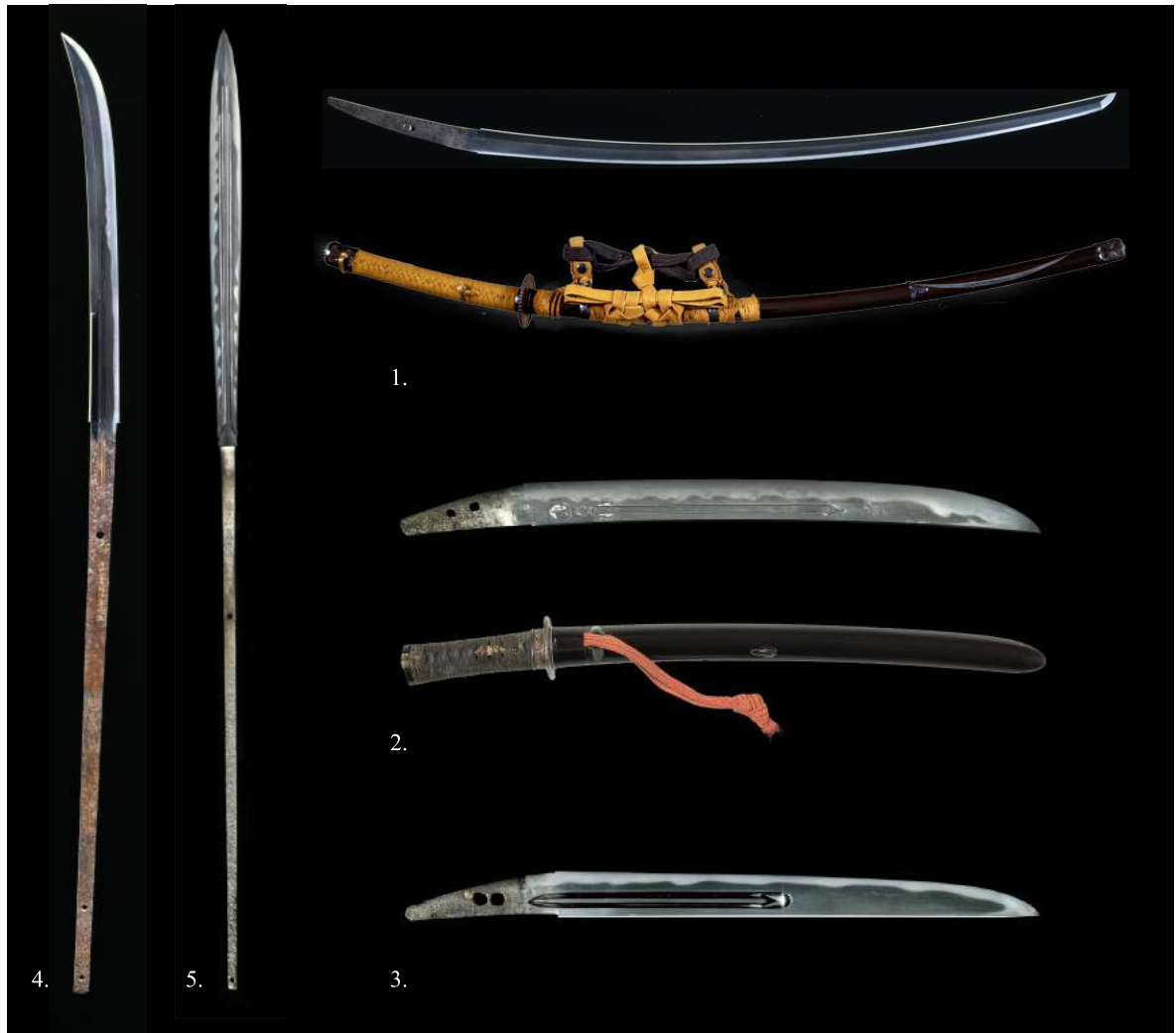
※コラボレーション企画に関するお問い合わせは三島市教育委員会文化振興課(TEL 055-983-2672)まで。

### 主なイベント

- ◆ 講演会「佐野美術館のコレクションと日本刀」  
11月26日[土] 14:00～15:30
- ◆ 実演「日本刀研磨」  
12月17日[土]、1月21日[土] 10:00～/13:00～/15:00～

## 広報用画像

本展の紹介記事等を掲載される場合には、1～5の画像と、展覧会チラシ掲載の画像をデータで提供できます。電話、FAXまたはメールでご連絡ください。



1. 重要文化財 秋草文黒漆太刀拵 室町時代 (中身)太刀 銘 豊後国行平作 鎌倉時代 佐野美術館蔵
2. 重要美術品 脇指 銘 相模国住人広光/康安二年十月日(号 火車切)南北朝時代 付 黒漆塗小サ刀拵 室町時代 (展示期間:11月12日[土]~12月23日[金])
3. 重要文化財 短刀 無銘 貞宗(名物 太鼓鐘貞宗)鎌倉~南北朝時代 個人蔵
4. 国宝 薙刀 銘 備前国長船住人長光造 鎌倉時代 佐野美術館蔵 (展示期間:11月12日[土]~12月23日[金])
5. 大笹穂槍 銘 藤原正真作(号 蜻蛉切)室町時代 個人蔵

## お問い合わせ

佐野美術館 広報グループ 深沢

〒411-0838 静岡県三島市中田町1-43 Tel. 055-975-7278 Fax. 055-973-1790

URL <http://www.sanobi.or.jp> E-mail [koho@sanobi.or.jp](mailto:koho@sanobi.or.jp)